

令和元年度 門川町立西門川小学校 自己評価書

※4点満点

類型	評価項目	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価結果	学校関係者評価	評議員による意見
学力向上	授業の工夫 基礎的な学力の向上 家庭学習の充実 読書の推進	学校では、少人数のよさを生かし、きめ細やかな指導を心がけてきた。基礎学力の定着についての児童や保護者の評価は比較的高いが、教職員の評価は低い。各種学力調査の結果を見ても、基礎的な内容につまずきが見られる。 家庭での読書については、保護者・教職員ともに評価が低い。引き続き、家庭への啓発が必要である。	3.2	3.7	個別指導が充実していて、子どもたちは幸せである。子どもたちが次の学校でさらに学力を高めることを期待したい。
豊かな心	思いやりの心などの育成 笑顔でのあいさつ 防災教育の充実	あいさつについては、機会あるごとに指導を続け、児童の意識が高まってきた。	3.3	3.4	年を経るごとに、気持ちのよいあいさつが見られるようになってきた。
健康・体力の向上	体力の向上 健康を考えた食事 早寝、早起きの習慣付け 朝ご飯の習慣付け 食育の充実	早起き、早寝、朝ご飯の習慣については、児童の評価は高いものの、教職員の評価は低い。朝から眠そうにしていたり、朝食をとっていなかったりする児童が見られるので、保護者への啓発を含め指導の継続が必要である。	3.2	3.3	早起き、早寝、朝ご飯は、子どもたちの成長にとっても大切なことであるので、今後も家庭への啓発が必要である。

	評価項目	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価結果	学校関係者評価	評議員による意見
西門川ならではの教育	中学校と連携した取組 体験活動による豊かな心の育成	運動会や文化祭など、西門川中学校と連携した活動を充実させることができた。 米作りや各地区でのふれあい活動など、地域と連携した活動を充実させることができた。児童や保護者の満足度も高い。閉校を迎える学校として、地域への恩返しができると考えている。	3.5	3.9	中学校との連携や、地域と連携したふれあい活動など、西門川ならではの教育がとても充実していた。最後の一年間としてふさわしい充実した取組が見られた。 2月16日の閉校式典も素晴らしいものであった。

家庭・地域との連携	学校からの情報提供（学校だより、ホームページ等） 学級担任からの情報提供 テレビやゲームの時間 PTA行事への参加 家庭学習の見届け 参観日の充実	学校の情報提供については、教職員を含めて高い評価を得ている。今後も、学校だよりやホームページの活用を進めていきたい。 テレビを見たりゲームをしたりする時間については、保護者・児童・教職員ともに評価が低い。かなり長時間にわたってゲームをしている児童もいるようなので、家庭との連携を進める必要がある。 保護者のPTA活動や各種行事への参加の状況は良好である。	3.4	3.4	学校のホームページで、子どもたちの様子を知ることができてよかった。 ゲームやテレビの時間が長いことは、様々な悪影響が考えられるので、保護者の意識を変える必要がある。
-----------	--	---	-----	-----	---

その他	気軽に相談できる環境づくり 教育環境の整備	子どもが教職員に気軽に相談できる環境が整っていることが分かる。 施設・設備については老朽化が進んでいるが、児童が安全に生活できる環境の保持に努めてきた。	3.3	3.8	子どもたちの先生方との距離が近く、子どもたちが安心して学校生活を送っている様子が伝わってきた。
-----	--------------------------	---	-----	-----	---